

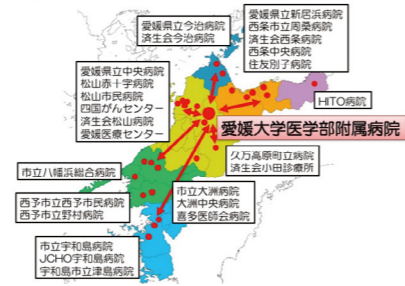
内 科 (総合内科専門医)

1 内科専門医研修プログラムの紹介

1人でも多くの内科専門医を養成し、愛媛県を中心とした地域の医療に貢献する志を持った医師の育成を最優先したプログラムを用意します。

そのため、愛媛大学医学部附属病院のみならず、県内の基幹病院プログラムと連携し、また、愛媛県内において指導体制を確立しているほぼ全ての病院と連携し、安定的に研修リソースを提供。安心して専門医研修ができる体制を構築し、責任を持って指導いたします。

愛媛大学医学部附属病院と愛媛県内の主な連携病院



2 プログラムの目的と特徴

内科専門医として、内科全般にわたる広い知識と専門性を持ち、最新かつ高度な医療を提供するとともに、全人的な内科診療と他職種にまたがるチーム医療を提供する能力を身につけることを目的とします。また、愛媛県を中心とした地域医療に貢献し、県民に安心を与え、県民の期待に応える1人でも多くの内科医の育成を目指します。また、内科専門医研修と並行して、サブスペシャリティー専門医の取得を目指すコースを設定し、大学院でのリサーチマインドの涵養、プライマリーケアによる地域包括ケアへの貢献を、各個人の希望に合わせて促します。

愛媛大学医学部は、愛媛県内における唯一の医育機関であり、また、愛媛大学医学部附属病院は県内の医療機関の要の病院で、多くの領域における拠点病院の役割を果たしています。症例経験に必要な全ての分野の診療科を有しています。

その実績と歴史を生かし、さらに基礎医学講座によるアカデミア教育機会の提供、病理学講座との連携によるCPC、シミュレータを用いたJMECC受講などにより、専門医資格と、そのための知識を円滑に取得し、資格試験に備える臨床経験を得ることが可能です。

また、大学病院のみならず、ほぼ県内全域にわたる、地域研修を可能にする連携病院、特徴的な診療領域を持つ連携病院を多数有しており、希望に応じた臨床研修が可能な資源があります。

なお、3年間の研修期間のうち基幹施設(愛媛大学医学部附属病院)で1年以上、立場や地域における役割の異なる連携施設(表1)で1年以上以上の研修が求められています。

内科専門医を取得する内科専攻研修のコースには、一般型コースおよび専門医の早期取得を目指した並行研修コース(サブスペシャリティー重点型コース)があります。

◎一般型コース

内科研修を3年行い、内科専門医取得後サブスペシャリティー研修登録を開始して、その3年後にサブスペシャリティー専門医を取得します。内科研修の3年間で、入局後は各医局に所属して研修を継続します。

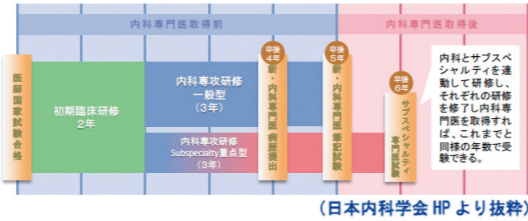
◎並行研修コース(サブスペシャリティー重点型コース)

内科研修中に、サブスペシャリティー領域を専門医になるために経験し、それをサブスペシャリティー領域の専門研修として認められます。すなわち、内科専門医取得後、2年後にサブスペシャリティー専門医を取得できます。愛媛大学医学部附属病院はサブスペシャリティー研修可能な、十分な指導医の数を有しています。

3 経験目標(表2)

内科専門医取得に必要な内科13領域

(総合内科、消化器、循環器、内分泌、代謝、腎臓、呼吸器、血液、神経、アレルギー、膠原病・類縁疾患、感染症、救急)の疾患を効率よく経験し、最終的に70疾患群、200以上の症例取得を目指します。そのうち修了要件160症例の1/2に相当する80症例は、初期臨床研修中に経験した症例であっても良い。



詳細に関しては「内科学会」、「研修手帳」で検索し、下記リンクよりダウンロード可能。
<http://www.naika.or.jp/jsim/wp/wp-content/uploads/2015/08/2015-log.pdf>

4 内科専門医の指導体制

診療科: 第一内科、第二内科、第三内科、脳神経内科・老年医学、臨床薬理神経内科、糖尿病内科・臨床検査医学、総合診療科
 標榜する診療領域: 血液内科、感染症内科、膠原病・リウマチ内科、循環器内科、高血圧内科、呼吸器内科、腎臓内科、消化器内科、内分泌内科、代謝内科、糖尿病内科、アレルギー内科、老年内科、神経内科、薬物療法内科、総合診療科

5 研修に関する行事

研修医同士の交流会、連携病院との交流会や見学ツアー、各診療科の研修説明会が開催されています。

6 専門研修終了後について

内科専門医研修の後には、サブスペシャリティーの研修希望に応じて、専門領域の担当診療科に所属し、サブスペシャリティー専門医の取得を目指します。また、大学院への進学も促すことで、リサーチマインドの涵養を実践します。

(表1)

		連携病院	特別連携病院	
東予地区	四国中央	HITO病院		
	新居浜	県立新居浜病院 住友別子病院 十全総合病院 愛媛労災病院	岩崎病院 立花病院	
	西条	西条市立周桑病院 済生会西条病院 西条中央病院 村上記念病院 西条愛寿会病院	共立病院	
今治		県立今治病院 済生会今治病院 瀬戸内海病院 吉野病院 白石病院	済生会今治第二病院 放射線第一病院	
	松山	県立中央病院* 松山赤十字病院* 松山市民病院* 四国がんセンター* 済生会松山病院 道後温泉病院 松山記念病院 南松山病院 貞本病院 奥島病院 松山協和病院	渡辺病院 鷹ノ子病院 松山城東病院 NTT西日本松山病院 おおぞら病院 野本記念病院 浦岡胃腸クリニック 松山ベテル病院 久米病院	
中予地区	東予	愛媛医療センター	愛媛十全医療学院附属病院	
	伊予・砥部		砥部病院	
	久万		久万高原町立病院#	
	内子		済生会小田診療所#	
南予地区	大洲	市立大洲病院 喜多医師会病院	大洲中央病院 大洲記念病院	
	八幡浜	市立八幡浜総合病院		
	西予	西予市立西予市民病院 西予市立野村病院#	伊方町国保瀬戸診療所# 松野町国保中央診療所#	
	宇和島	市立宇和島病院* JCHO宇和島病院	宇和島市立津島病院# 松野町国保中央診療所#	
	南宇和	県立南宇和病院#	愛南町国保一本松病院# 愛南町国保内海村診療所#	
	愛媛県外	大阪府堺市	耳原総合病院	
	広島県呉市	呉共済病院		
大分県別府市	野口病院			

★高次機能・専門病院 # 僻地施設

(表2)

内容	専攻医3年修了時	専攻医3年修了時	専攻医2年修了時	専攻医1年修了時	病歴要約提出数	
	カリキュラムに定める疾患数	修了要件	経験目標	経験目標		
総合内科Ⅰ(一般)	1	1 ^{※2}	1		2	
総合内科Ⅱ(高齢者)	1	1 ^{※2}	1			
総合内科Ⅲ(腫瘍)	1	1 ^{※2}	1			
消化器	9	5以上 ^{※1※2}	5以上 ^{※1}			3 ^{※1}
循環器	10	5以上 ^{※2}	5以上			3
内分泌	4	2以上 ^{※2}	2以上			3 ^{※4}
代謝	5	3以上 ^{※2}	3以上			
腎臓	7	4以上 ^{※2}	4以上			2
呼吸器	8	4以上 ^{※2}	4以上			3
血液	3	2以上 ^{※2}	2以上			2
神経	9	5以上 ^{※2}	5以上			2
アレルギー	2	1以上 ^{※2}	1以上			1
膠原病	2	1以上 ^{※2}	1以上			1
感染症	4	2以上 ^{※2}	2以上		2	
救急	4	4 ^{※2}	4		2	
外科紹介症例					2	
創傷症例					1	
合計 ^{※3}	70疾患群	56疾患群 (任意選択含む)	45疾患群 (任意選択含む)	20疾患群	29症例 (外来は最大7) ^{※5}	
症例数 ^{※5}	200以上 (外来は最大20)	180以上 (外来は最大16)	120以上	60以上		

7 連携病院との連携について(表1)

内科専門医プログラムを有する基幹病院との連携

愛媛県立中央病院、松山赤十字病院、松山市民病院、住友別子病院

8 地域枠内科専門医研修コース

専攻医として研修する3年間は、多くの施設が地域枠コースに含まれており、専門医取得に特に支障はありません。

9 内科専門医プログラム臨床研修の問い合わせ先

プログラム責任者: 山口修(循環器・呼吸器・腎高血圧内科学)
 プログラム実務担当者: 井上勝次(循環器・呼吸器・腎高血圧内科学)

相談窓口
 熊木天児(愛媛大学医学部附属病院総合臨床研修センター)
 ホームページ

<https://www.m.ehime-u.ac.jp/hospital/kenshu/>

連絡先 TEL: 089-960-5098, FAX: 089-960-5759

受付担当

総合臨床研修センター(e-mail: kenshu@m.ehime-u.ac.jp)

診療科ホームページ

第一内科: <https://www.m.ehime-u.ac.jp/school/int.med1/>

第二内科: <https://www.m.ehime-u.ac.jp/school/int.med2/>

第三内科: https://www.m.ehime-u.ac.jp/school/in_t.med3/

脳神経内科・老年医学: <https://www.m.ehime-u.ac.jp/school/lgeriatnc/>

糖尿病内科・臨床検査医学: <https://www.m.ehime-u.ac.jp/school/clab/>

臨床薬理神経内科: <https://www.m.ehime-u.ac.jp/school/clpharma/>